



# QUEEN'S SLAVE 2

クイーンズスレイブ



PRESENTED BY





# QUEEN'S SLAVE 2

クイーンズスレイブ

## ■前書き■

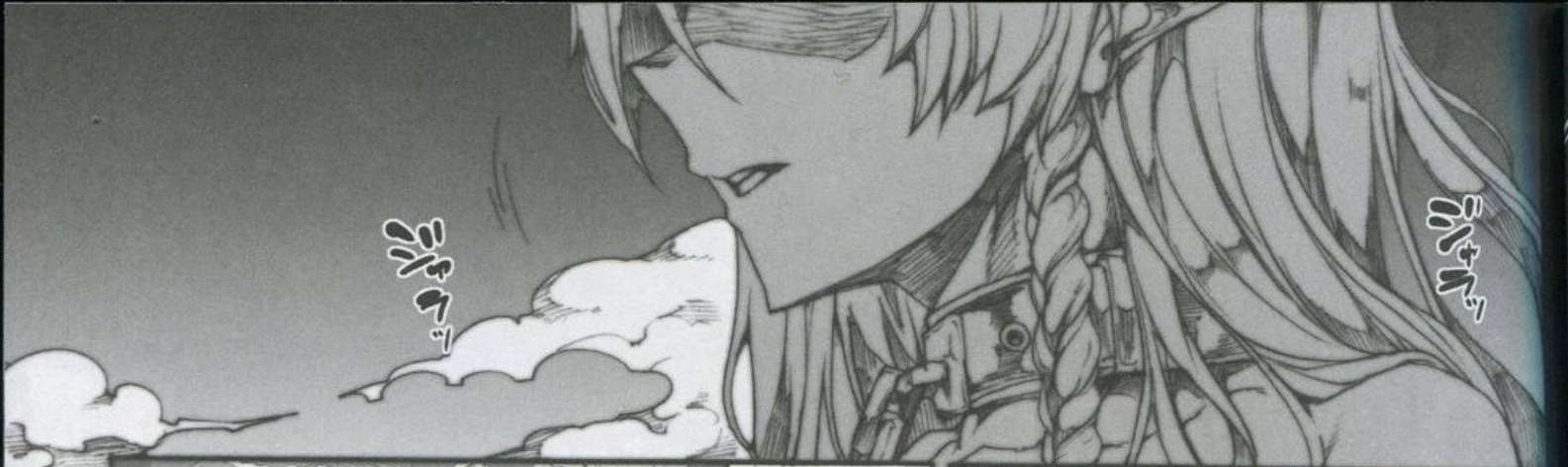
みなさんこんにちわ  
初めての方は初めまして。  
エレクトさわるです。

今回は前回に引き続き、クイーンズブレイドのアレイン教官さん本の二冊目になります。  
今回もまた、なんとというか、描きたいシチュエーションを羅列していつてネームを描いていたら  
またまたボリュームが多くなってしまいました…(--;)   
前は結構普通な感じ（輪姦はしてますがw）でちょっと物足りない所だったのですが、  
今回はその反省点を踏まえていつものマニャクな路線で行こうと思いますw  
最近はなんか段階的にノーマル→アブノーマル→堕 へな感じになってますねw

アレインさんはこう…いろんなシチュエーションで苛めたくりますw  
他にも描きたいエロシチュがあったのですが、ページの都合で泣く泣くカットする事に…  
でも後半でプロットテキストでショートストーリーな感じで収録してますので  
そちらも是非是非～。

年末で仕事に単行本作業に押され気味でスケジュールもいっぱいいっぱいでしたが  
なんとか出来ました。  
お楽しみ頂ければ嬉しいです。

それではまた後書きで。



ソワソワ

ソワソワ

クイーンズスレイブに  
堕ちてから私は  
千年間守り続けてきた  
純血を失った…



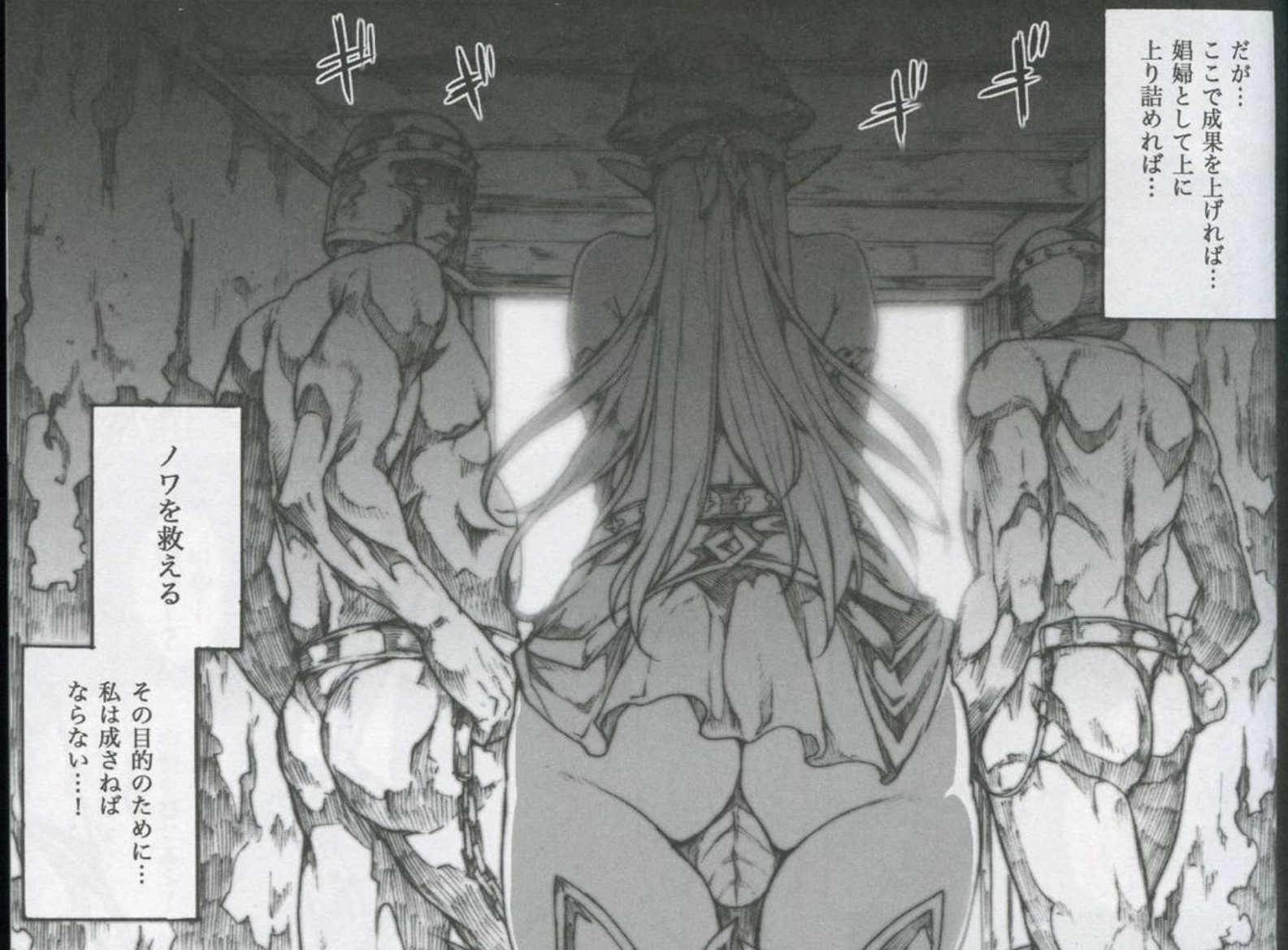
幾度と無く行為が  
行われて…  
私は何度も人間を  
受け入れてきた

はじめは嫌悪感しか  
抱かなかったが…この…  
性行為をしていると  
身体が熱くなる…



徐々に快楽という  
泥沼に沈もうとしている…  
私の中の『雌』の部分が  
垣間見えようとして  
いるのか…

だが…  
ここで成果を上げれば…  
娼婦として上に  
上り詰めれば…



≡

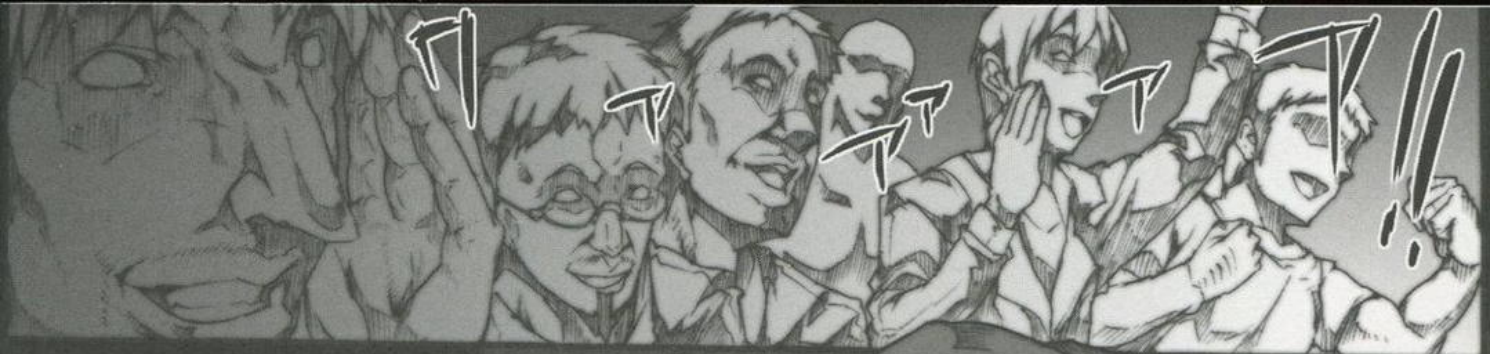
≡

≡

≡

ノワを救える

その目的のために…  
私は成さねば  
ならない…!



待ってましたあ！

目隠しと  
手枷をされて…

いったい今日はどんな  
見世物なんだ？

アレインちゃん  
今日もエロいよ！

うほほっ♪  
葉っぱパンツがまた  
素晴らしいですのう♥

特等席で  
良かったなあ♥

役得  
役得♥

食い込みが  
タマらんっ♥

ハッ

ざい

ニヤラ…

調教中も  
参加出来るなんて  
他には無いからなあ♥

くっ…  
目隠しをされてよくは  
分からないが…  
私はまた見世物にされると言うのか…っ

エルフが…そんなに  
珍しいと言うのか…  
下卑た人間め…っ！





さあさあ！

お集まりの皆様  
お待たせ  
いたしました！

今宵もこのエルフの  
調教ショーを  
お楽しみください！

アアア

アアア

ッ！？  
下腹部が…熱い…っ  
何を期待しているのだ私は…っ  
そんな事など…微塵も…っ！

…今日はいったい何を…  
どんな事をされるのだ…？



もじ

もじ

さあ アレイン教官  
これに座っておくれ

なに…？

あらら  
教官に怒られて  
しまいました

きやつ！  
そんな急に  
引つ張るな！

やあやあ！

ちよつと  
ゴメンなさいねえ

こつやつて  
足を上げて…と

なん…だ…？  
椅子…か？

おおおッ！  
すげえ  
丸見えだ！

いや…  
違う…？

お尻の下に…  
空洞を感じる…！  
これは…  
椅子ではない…！  
これは…これは…っ！

便器…だ…!

手を上に  
縛られてて…

そそれ  
ますなあ♥

うほっほう!

良い  
格好だぜ!

ざいざい

マンコがあんなに  
丸見えにっ♥

ウヒョー!

ヒィ

これにはもう何度も  
見慣れた方々も  
いらつしやるとは思いますが  
今日が初めての  
アレイン教団には  
説明しないとすね

…いや  
実際体験し  
もらった方  
いいかな?

な…  
なんだと…?

ひゃあッ!?

なッ…  
便器の中に  
何か居るぞ…ッ

な…何だ  
コレッ…はあッ!

もぞ  
もぞ

ひゃああ  
ああッッ!?

ぞく!

ブーン  
ブーン





はッ…

あぁッ!

んキッ

んキッ

悶える女性を  
とことん楽しむ!

ムムムム

ひやラッ  
!!?

ズルッ!

便器の中に  
潜ませた触手に  
襲わせる名物

ひあぁッ!

ムムムム

触手椅子にて  
ございます…!

よ…よくもこんな  
悪趣味なモノを…ッ

はぁ

はぁ

はッ

ふふふっ  
この触手はですね…  
狭くて湿り気がある所を  
好むという  
習性があるのですよ

な…ッ  
なんだと…?

んキ…ッ

ぬ  
ちゅ…

おや? 早速  
手頃な「穴」を  
見つけたみたいですね♥

んひやあッ!?

んキッ!!

はぁぁぁあッッ♥♥

はッ…あつ♥  
ああ…あはあッ!



おおおつ  
すげえッ!

見るよあの  
甘い声♥

タマンねえ  
なあ♥

触手に犯される  
エルフっ娘♥

鉄板だけど  
そこがイイっ♥



ひびく…

んひやああッ♥

な…何だ…この…感覚は…?  
全身を…舌で舐められているような…  
触手のタマリで気持ち悪い…が  
この…くすぐったくもあり  
気持ち良くもある…っ!



身体が…下腹部が熱い…っ!  
こんな化物に犯されて  
私は感じて…というのか!?

ふふ…  
その触手には  
ですね

獲物をしびらせて  
好意的に受け入れさせる  
一種の媚薬みたいな  
成分を含んでいるのですよ

な…ッ!?  
び…媚薬…  
だとっ?

はああ  
あッッ!?

感じるのでしょうか?  
全身に電撃が走るような  
快感を…♥

そっ!  
そんな事は…っ♥

ひやめっ♥  
ひやめっ…るおおっ♥♥

そこ…っ♥  
クリトリスを  
いじる…っ  
なああ…ッ!

ハアハア…  
もう  
辛抱たたらん…っ

!

触手に悶える  
姿が  
エロすぎる…♥

ひやはひい

おや…聞こえますか？  
あの男達の荒い  
息使いが…

皆さんあなたの  
淫らな姿を見て  
オナニーをして  
いるのですよ

わ…  
私で…？

我慢汁を滴らせ…  
にちゃにちゃと  
勃起したチンポを  
しごいていきますよ♥

もうッ…  
ダメだ…っ

果ててしまう…っ♥

な…なんで  
止め…っ？

ふふ 解っていますよ  
あなた…  
イキたかったん  
ですよね？

この醜い触手に犯されて…  
イケば楽になれる…  
一刻の快楽を得て終わりに  
しようとしていた

くうっ…  
そんな事は…

はあんっ♥

んあッ!?!

クク…  
そんなにイキたかった  
のなら…

――



ツ！？

そんな台詞  
言える訳が  
ないだろう…っ！？

私は別に  
かまいませんよ

このまま  
悶え続ける姿を  
眺めるのもまた  
一興♥

くっ…

くろう…人の  
足元を見て…っ  
完全に見透かされて  
いる…っ

どう…の…  
いつまでも焦らし  
続けられる地獄から  
開放されるのなら…っ！

く

っ…

お…  
お願い…します…

私の…  
この淫らな姿で  
お…オナニー…して

濃いあなたの精液を  
ぶっかけて  
私をドロドロに  
してください…っ

アッ

アッ

んああっ!

教官の汗染み  
たっぶりのワキ♥

汗でヌメって  
たまらんのう♥

はあ…  
あああッ♥

お前等…っ  
どいてこすり

ハア…ハア♥  
教官っ!

ムチムチで  
気持ちいいっ♥

うっ♥うっ♥  
射精るうっ!

こっちま…♥

ひやあッ!?

熱っ…いっ

教官ッ!  
こっち向いて  
下さい…っ♥

イクらっ

んぶあッ  
はあ…っ

舌出して舌っ  
そこそう…  
おっ♥ おおっ!  
射精るっ♥

んっ！

うっっ♥

お…俺も教官に  
溜まったザーメン  
ぶっかけるッ!!

んっ!

んっ!  
んっ!  
んっ!

ほほっ♥  
素晴らしいザーメン  
塗れですねえ♥  
さあ触手ちゃん  
盛大にイカせ  
ちゃって  
ください!

ふああ  
ッ!?

も…う…  
ダメだっ♥  
はひいッ♥

ひッ…い♥  
イクっ!!  
イツちやううッッ♥

んっ!  
んっ!

んっ!  
んっ!

んっ!  
んっ!

んっ!  
んっ!

は…あ…♥

ぶはッ！  
おああ…♥

教官にぶっかけ  
たまんねえっ♥

もい…♥

ドロ…♥

はあ

すっげえエロいな  
このザーメン面♥

キレイな顔を  
汚すのは興奮する  
なあ♥

はあ

はあ

ほくらアレイン教官  
顔に塗りたくって  
あげるよ♥

ア…♥

ザーメン面  
エロすぎ…  
ううッ♥

んぶう…

ア…♥

うええ…

こりやまた  
盛大にイキました  
ねえ♥

…おや？

んおおッ  
はにやは  
らめっ！

ハハハ！  
ザーメンで  
鼻ちようちん出来てら♥

ア…♥

なんと  
オシリの穴まで  
犯されていたのですわ  
では…

んん

んん



ひあッ!?  
い…今はイッたばかりで  
もう…っ♡  
はひいッ♡♡♡

あ…あっ♡  
やめ…ろおっ

尻の穴と…  
腹を刺激する…っ  
なああっっ!♡

うふふ…  
彼等は求めて  
いるのですよ  
あなたのお腹の中に  
溜まったモノを!

な…  
何を…?

ツ!?

なんだ…?  
この男達の何かを  
期待するような  
眼差しは…?

ッ!?!  
そ…そんな…まさか…  
アレを…ここで…?

イヤ…っ  
嫌だ…こんな…  
大勢が見ている前でそんな事…ッ!

いいのですよ  
我慢しないで♡  
ヒリ出したいのでしょうか?  
溜まっているのでしょうか?

もッ…う…  
やめ…ろお!

出るうッ!  
漏らしてしまう  
ッ!?!

ひああ

んおおツ♡  
おおおおツ♡

キーンッッッ

ひはあッ♡

キーンッッッ  
キーンッッッ  
キーンッッッ



まだ出るうっ♡ 見る…なっ!!  
見るなああっ…



うははッ!  
すげえっ♡

なんて  
ぶっとい  
ウンコだ♡

エルフもウンコ  
するんだな♡  
幻滅だぜ♡



きったねえ!  
こっちにまで  
飛ばすなよ♡

随分溜まってた  
んですねえ♡  
とても気持ちよかった  
でしょう?



んおおおおツ♡

ん…っ♡

う……うう……  
人間の前で……  
糞をひり出すなどと……  
誇り高いエルフの威厳が……  
く……屈辱……ッ！

だ……だが……  
すごい……  
気持よかった……♡

はき

はき

はき

はき

うへえ  
あの触手  
ウンコ食ってるぜ

汚ねー♡

見る  
ウンコで触手の腹が  
膨らんでいくぞ

いひい  
ッ！！

グニッ

な……？

何を……する……？

ま……な……か……？  
や……め……っ……！

ぐちゅん

う…そっ!?!  
そんなモノ…  
入れるッ…なッ!

んあああああ  
ツツ!!

うおおッ!  
マニアック  
だなあ

ウンコ  
浣腸だ!

生暖かいモノ  
が…っ♥

わんわん

どんどん入って  
くる…ううッ!!

おッ…おおッ♥  
腹に…っ  
また…溜まって…

んひひいッ♥

ひひいッ…!!

また…また  
脱糞るっッ♥

おんほおおお  
おおッ♥

ふほ  
ほっ♡

臭気と精液：  
汗の臭いが混ざって  
スゴいですねえ♡

アアアアア

アアアアア

こんなに素晴らしい  
脱糞ショーを  
披露してくれた  
アレイン教官に  
盛大な拍手喝采を！

見るなあ…

んんん

んん！

見る…  
なあああ…♡

さて皆様！  
今宵のショーは  
これにて終了です

この後は  
アフターイベントとして  
存分にお楽しみ  
くださいませ！

おおおッー

んん

んん

んん

んん

んん

んん



...もう...何人目になるのだろう...



私は...文字通り『肉便器』として  
人間の男共の精を注がれていた





まだかよ早くしろよ

へへ…ちよっと待てよもっこの肉垂を堪能して…おおッ♡

あんっ♡ ひああッ♡

何度も何度も…  
小汚い男達の欲望を穴という穴に注がれて…  
私は…



おろッ♡ おおッ♡

イクぞおおッ！  
教官の生マンコに  
膣内出し  
するぞおッ！

幾度と無く押し寄せる『快楽』という波に溺れていった

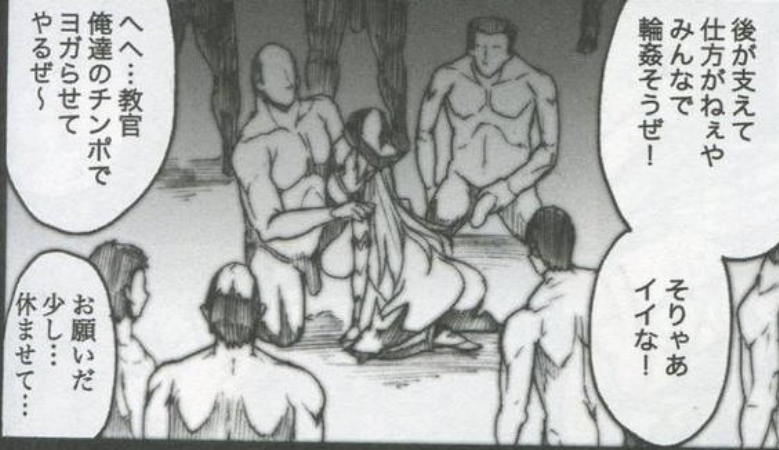


ハア…ハア…♡

くああっ！  
教官さんのマンコに  
タップリ膣内出し  
してやったぜ♡

は…ッ♡ あああ…♡

はああ…♡ すっげー出たか

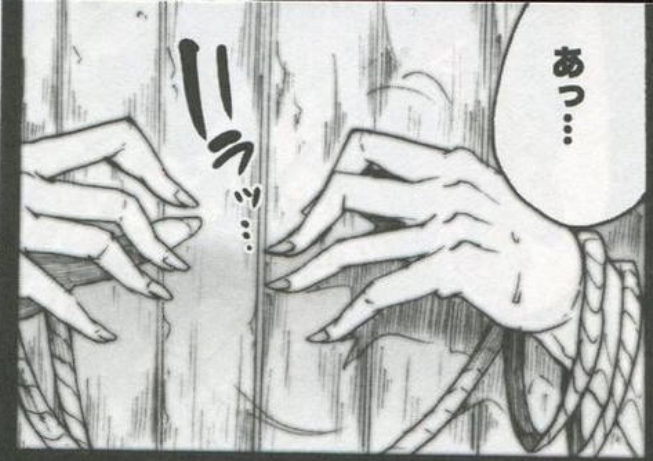


へへ：教官  
俺達のチンポで  
ヨガらせて  
やるぜ！

お願いだ  
少し：  
休ませて：

後が支えて  
仕方がねえや  
みんな  
輪姦そうぜ！

そりゃあ  
イヤな！



あつ…

しゅっ…

そして男達は…  
調教され敏感になっている私のアナルをも犯し始めた



おい  
一気にアナルにも  
二本差しいって  
みようぜ♥

なっ…んだと  
そんな…ッ  
無理…ッ  
ひいっ！

何をするにもまずは  
経験する事なんだぜ  
アレイン教官♥



おおおおお

んおお！！

アッ





尻の穴も…っ♡  
おまんこもツ♡

奥で…ツッ!

ゴリゴリしながら  
カキ回されて  
るううツツ♡♡



キツツ…いいツ♡  
おおツ!?!  
んおおおツツ!!

ああっ♡  
アナルが長くほぐれてて  
気持ちいい♡

下腹部に今まで感じたことのない衝撃を感じた  
肌の密着感と汗のぬめりが混ざっている



どうです教官?  
おまんこアナルを  
同時に犯される感想は?

あ…  
ああっ♡

この…  
現実とは思えない程の  
同時に押し寄せてくる  
快楽…っ♡  
百点…だっ♡

ズッ♡  
ズッ♡

野生に…自然に戻っているようだ…



くああっ♡  
アレインさんの  
バイズリ…っ♡

もちもちで  
俺のチンポに  
にゅるにゅる絡んで  
くあっ♡…っ♡

そ…  
そうか？

コレが…  
おっぱいで殿方の肉棒を  
しごくのがそんなに  
気持ちが良いのか？

もはや私は我を忘れ  
男の精を絞り取るだけの道具になっていた



アレインさんっ♡  
ザーメン出ちゃう  
よあっ♡

あっ♡ ああっ♡  
射精するっ♡



そんなに舌で  
べろべろ  
されたら…っ♡

アッ…っ♡

私は生殖器以外にも男を喜ばせる事が出来る事を知った



そ…  
そうか？

俺もって  
もらおうかな！

俺もッ！  
教官！  
バイズリして  
ください！

気持ちよかったよ教官！  
百点満点  
あげちゃおう！



くああっ♡

ひゃああッ♡

どんどん自分が新しい性技を身につけていく度に



くうっっ！  
教官のまんこ  
最高だよ！

百二十点満点  
あげちゃう！

え…？

俺も俺もっ！

アレイン  
教官っ♡

最高得点  
だよっ！

みんなが私を褒めたたえている…  
私に浴びせられる賞賛の嵐…

ハア…ハア…  
とつても  
気持ち良かったよ  
教官っ♡

ぬほほ♡

んはあ…♡  
ありがとう…  
ございます…っ♡

お…俺っ  
教官のお陰で童貞卒業  
できて自信が付きました！  
ありがとうございますっ！

そ…そう…なのか…？  
嬉しいぞ…♡

私は常に戦闘教官として弟子をしごいてきた…  
褒められるというのはこんなにも気持ちの良いことなのか？

今日の成績には  
目を見張るものが  
あるね  
アレイン教官！

みんなの  
感謝の気持ち  
伝わってきたら  
どう？

はっっっ♡

みなさんにこんなに  
祝福されて…っ！  
私はとても嬉しいぞっ♡

そうだ  
私は常に評価する側にいた

さあ！  
アレイン教官！

とびっきりの笑顔で  
みなさんの喝采に  
答えてあげてください！

褒められるという事は…  
こんなにも高みに導いてくれるものだったのか

はひひっ♡

イクツッー！！  
イクツッッッ♡

もっと私を称えてくれ…！  
私に…  
賞賛の嵐を喜んで欲しい…！！

ツひぐら  
♡

ツひぐら  
♡

ひやくてんまんてん  
ピースアクメで

んおツ!?  
ほおおおツ♡♡

んおツ!?

アナルとおまんこに  
腔内出しされて…♡  
お腹がタプタプに  
なってるうっ♡

はッ...

おめでとー！

おめでとー！

あひいっ♡

おめでとー教官！  
これでワタンが  
教えられる事は  
何もなくなったよ！

晴れて  
研修生  
卒業だ！

は...はい♡

これからも...  
皆様のお役に立てるように  
精一杯ご奉仕します♡

さあ  
お腹に溜まったモノを  
これにぶちまけて  
おくれ♡

コト...

は...はいっ♡  
ご主人様...

み...みなさま  
私のザーメンウンチ  
ぶりぶりする所...

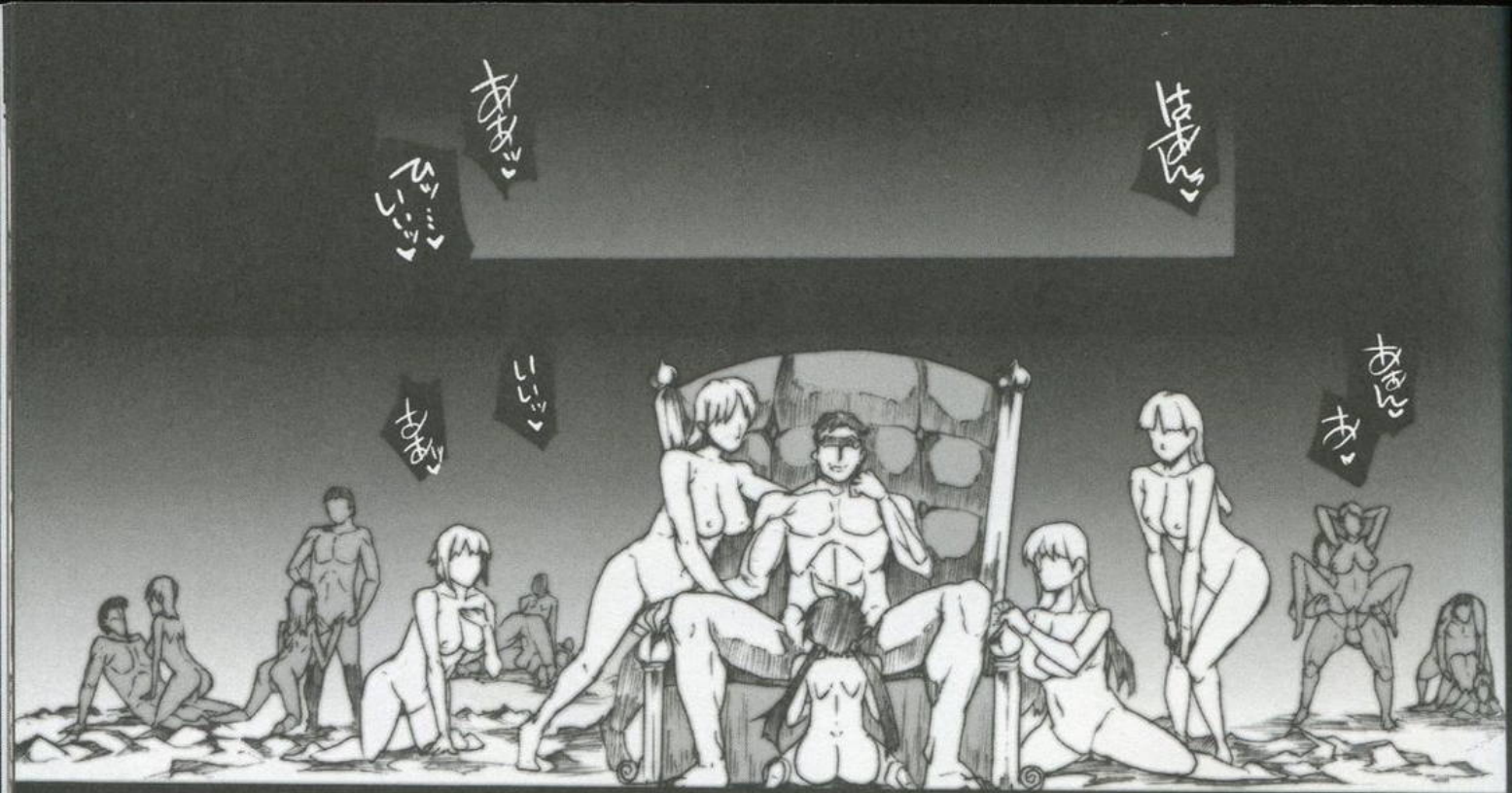
見えて  
くださいねっ♡

ンッ...♡

びるるっ！







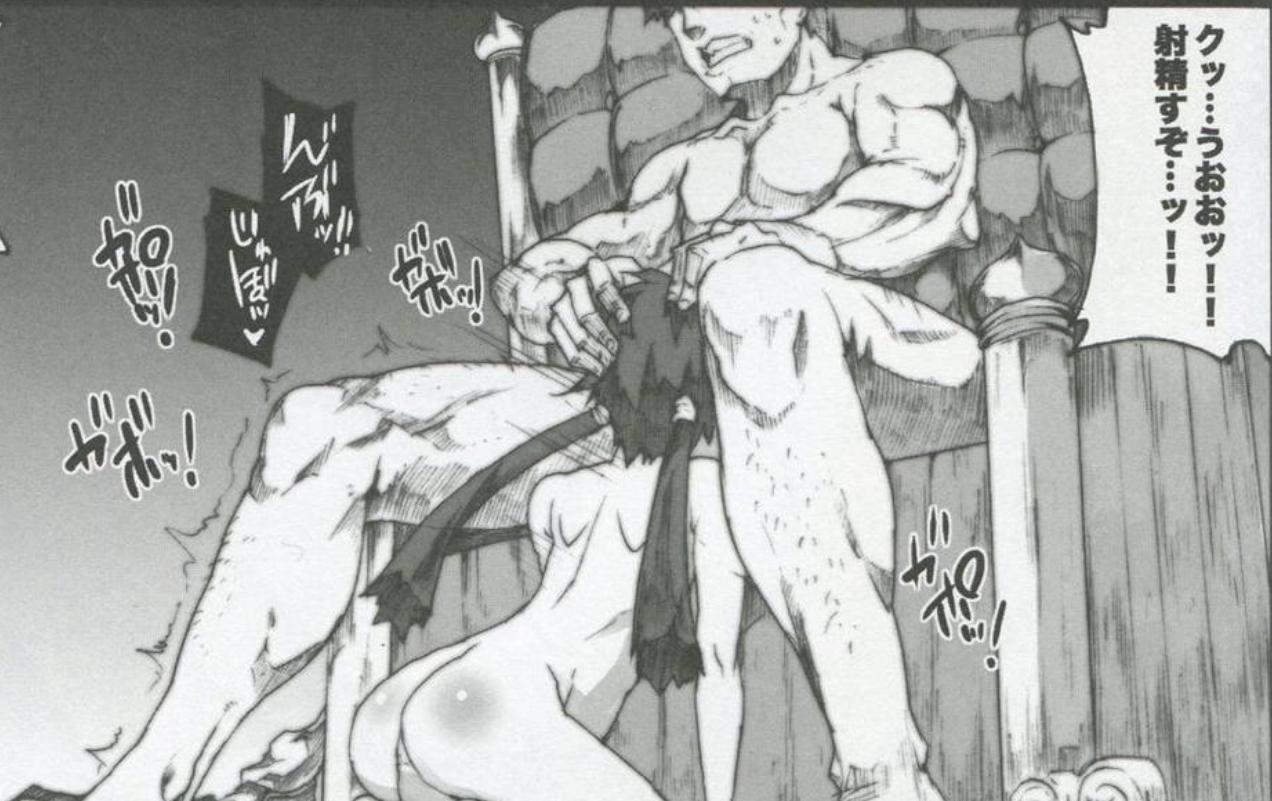
ククク：そうか  
エルフの教官が  
堕ちたか

こちらも既に準備は  
済んでいる



クツ：うおおツ！！  
射精すぞ…ツ！！

ノド奥で…  
しっかり  
受け止めるよツ！



ウツー!!

く…は…ツツ  
ハハハ…ツツ!!

ツツツ!!

ツツツ!!

ふふふ…

ザッザッ

ツツツ

こいつらを  
会わせるのが楽しみに  
なってきたぜ

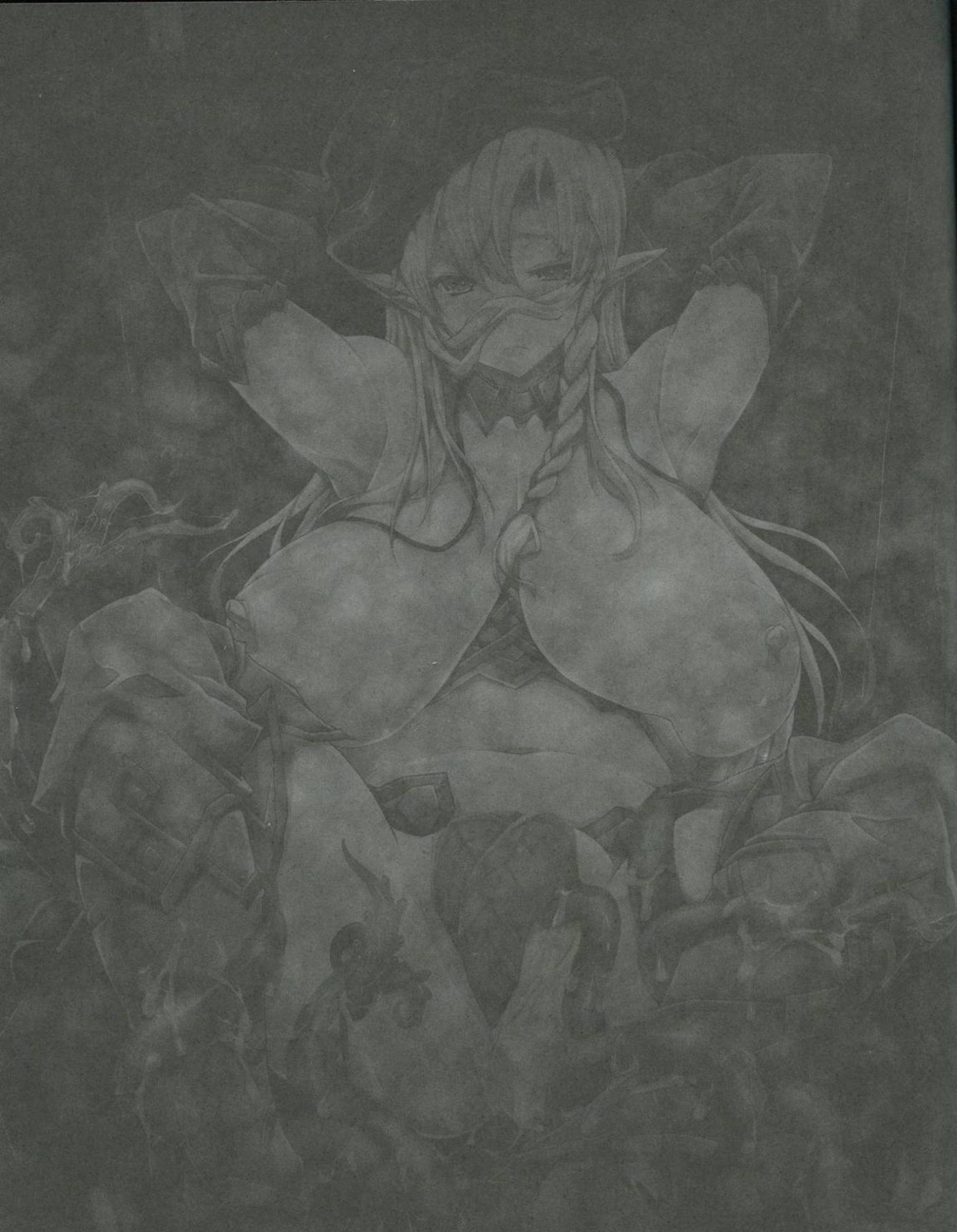
なア…

ノワよ…!!

ヒッ

ヒッ

ヒッ



QUEEN'S SLAVE 2

アレイン教官本二冊目 QUEEN'S SLAVE2  
腐臭のオーガ アナル責め 公開脱糞

愛弟子ノワを追い、クイーンズブレイドへ参加した戦闘教官アレイン。準決勝、ノワを守るために試合に負けたアレインは裏クイーンズブレイド、通称クイーンズスレイブへと落とされ、下卑た男達に千年も守り続けてきた純血を失われて性奴隷へと調教されていった。

観客の歓声が飛び交う地下闘技場。

今にも胸がこぼれそうに際どい拘束具を着せられ、下品なにやけ顔をするゴブリンに鎖で繋がれて観衆にさらされる。

「なんてエロい格好だ！」

「あれが千年間純血を守り続けてきたエルフの戦闘長なのかよ！」

様々なヤジを受けつつ、辱めをうけるアレイン。  
だが。

「こんなことで…こんなことで私は負けない…！  
ノワを…ノワを救うまで私は…！」

様々な調教を受けて身体が淫らになろうとも、このエルフの持ち前の気丈さは失われない。  
大切な戦友のために。

ナレーションが闘技場でこだまする。

「さあ皆様おまたせ致しました！今日のメインバトル！  
戦闘教官アレイン対！  
腐臭のオーガだ！」

まっぴり言いましたと言わんばかりに歓声が沸き上がる。

「な…！あれは…腐臭のオーガだと…？  
あんな危険な相手をこの闘技場では飼育していると言うのか…？  
しかも…」

アレインの目がオーガの股間に目をやる。

そこには、布越しにもわかるくらい隆起したモノがあった。

「…っ！私を見て…興奮しているのか…っ！」

顔を赤らめつつも、遠くからでもにおう腐臭に顔を背けるアレイン。

戸惑いつつも戦いのゴングが鳴る。

のっしのっしと何も考えなしにオーガが迫ってくる。  
剣を構え、戦闘態勢にはいるアレインだが、身体に異変を感じる。

後ろを見ると、ゴブリンがニヤニヤしている。  
はっとした。

もしかしてあの食事の中に何か…！  
意識が朦朧としながら襲いかかってくるオーガを交わそうとしたとき、  
身体が宙を舞った。

忘れていた。

コイツに鎖で繋がれていた事を。

QUEEN'S SLAVE 2



「卑怯な…はじめからこれが目的だったのか…!」

薬とゴブリンの計らいで、アレインはオーガのなすがままにされる。歓声が湧く。

「くそっ…こいつら…最低だ…!」

「こんな…こんな大勢の前で私は…っ!」

オーガに身体を羽交い絞めにされ、顔を舐められる。

腐臭、体臭に顔を背けるが、アレインは不思議な感じを覚えた。

「な…なんだ…この…感覚は…?」

臭い…臭いの…この…脳髓の奥が…ズンズンくる…っ!」

「うひゃー、腐臭のオーガに密着されて…  
そうとうクッせえだろうなあ。」

「大丈夫大丈夫、オーガ相手だと試合前に薬を飲まされて  
あの腐臭でも快感を覚えるみたいだぜ♪」

「な…そうか…あの時の薬のせい…なのか…っ!」

オーガの腐臭にクラクラしつつつ陵辱者はアレインの頭を抱え、股間の前にやり自らの怒張を顕にする。

そそりたつ勃起したチンポ。だからだとガマン汁を垂れ流し、

むっとした体臭以上の臭気をまとっている。

ずっと、私を犯すことを思っていたのか。

司会者が解説する。

「このオーガは精力が強く、常に性行為をしていないと  
いけないのだが、もう一週間も女を抱いていない。

一発も抜いていないからしっかり相手してやってくれよ!」

たまらなくなり、オーガはチンカスがべつとりとこびりついたチンポをアレインの口に突っ込んだ。

腐臭に嗚咽を漏らしつつも、密かに感じる快楽に、アレインは戸惑った。

「イカせる事が出来れば…こんな悪夢は早く終る…!」

そう思うとアレインは、オーガを顔を見つめてこう言い放った。

「わ、わかりました…精一杯ご奉仕しますので

わ…私の口マンコでザーメン排泄してください…っ!」

そう言うときアレインは、腐臭漂うオーガのチンポを優しく奉仕した。

べつとりとはりついたチンカスを舐め取り

丁寧に愛らしくねちっこくフェラをする。

「うひゃあすげえ…♪」

あのオーガの異臭チンポをくわえ込んでるぜ!」

「ゲロっちまうくらい臭いからなあ♪」

オーガのチンポをくわえ込み、口の中で舌もからめる。

オーガの唸り声が出たかと思うと、たまらなく一気に精液を放出した。

口の中に出され、その都度飲み込んでいたが、

あまりの量に飲み込めずその口を離す。

まだまだ射精が止まらず、アレインは顔中に特濃な精液を浴びた。

垂れ落ちる精液が胸を、腹を伝って地面に池を作った。

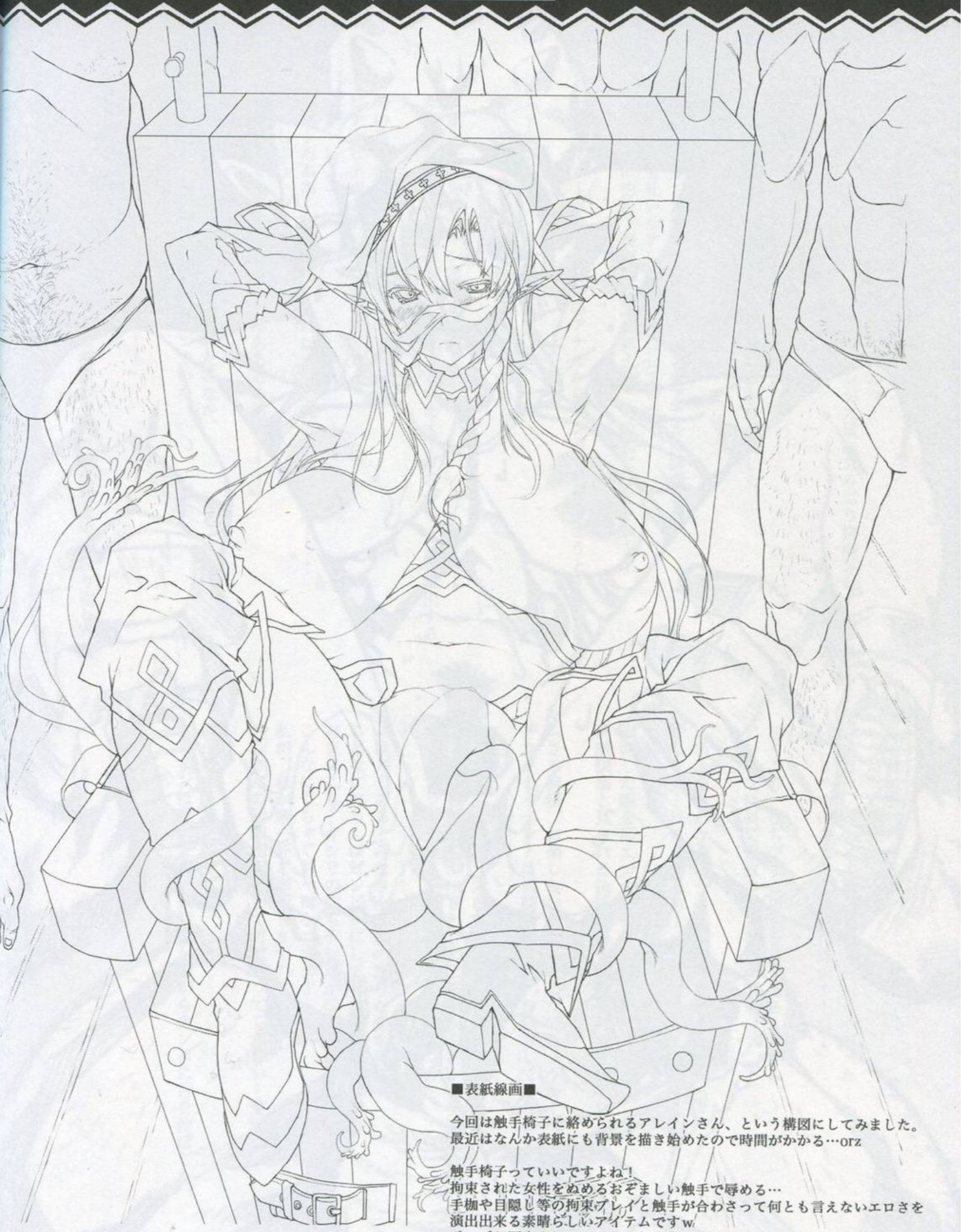
「んぶっ…おええ…っ す…すごい量…これが…これがオーガのザーメン…っ

あ…ああ…イヤだけど…なんだ…この…身体中が火照る…っ

オーガのザーメンが…濃くってドロドロのザーメンが…

こんなに愛おしく感じるなんて…っ!」





■表紙線画■

今回は触手椅子に絡められるアレインさん、という構図にしてみました。  
最近はなんか表紙にも背景を描き始めたので時間がかかる…orz

触手椅子っていいですね！  
拘束された女性をぬめるおぞましい触手で辱める…  
手枷や目隠し等の拘束プレイと触手が合わさって何とも言えないエロさを  
演出出来る素晴らしいアイテムですw  
ポーズが固定されるのであまり変化が無く、描くのは大変ですが…orz





「ひいッ！ おほおおおッ！ おおッ！  
オシリの穴に…っ オーガのザーメンが大量にぶりぶり排泄されて…ッ  
んぐッ！？んお…おえええッ！」

オーガのザーメンが直腸を刺激し、  
胃に溜まっていた精液がアレインの口から逆流した。

観客が歓声をあげる。

事が終わり、大量の濃厚なザーメンをアナルに排泄され、  
精液ゲロを吐いたアレインは放心していた。

しかしなにやら下腹部に異変を覚える。この感じはまさか…！

と同時にオーガはアレインのアナルからチンポを引き抜こうとする。

「ッ！？」

や…やめ…ろっ！今…今抜くと…あああッ！」

ヌボンと勢い良くチンポを引き抜くと、  
たまらなくアレインは直腸に溜まっていたオーガのザーメンを噴出する。

勢い良くオーガのザーメンが吹き出し、  
ピチャピチャと勢い良く音を立てる。

「あ…あああ…駄目…だ…これ以上…これ以上はあああ…ッ！  
出てしまう…ッ 我慢しろ…」

こんな所で…出すわけには…んあああああッ！」

アナルからザーメンを噴出していたさなか、  
中になにやら茶色い物体が混ざっていた。

「いや…嫌あああああッ！」

ザーメンと一緒に、彼女は直腸に溜まっていた排泄物までもひり出した。

辺りにオーガの腐臭とは違った臭いが充満する。

「うおッ 臭え！」

「ははッ、あのエルフ、ウンコ漏らしやがった！」

「こりやすげえ！エルフの脱糞ショーだ！」

ぶりぶり、びちびちと卑猥な音を漏らしながら、  
アレインは異臭を放つモノをひり出す。

「あ…あああッ！もう…もう出ないでええッ！  
こんな姿…見る…なああ…っ」

赤面した顔を抑えつつ、  
排泄快楽と見られる快感に心を惑わされるアレイン。

「さあ皆様、お楽しみいただけましたでしょうか！  
アフターイベントは皆様のご参加、お待ちしております！」

オーガに抱えられ、太いウンコを最後まで排泄した後、  
アレインは放心しつづきわざわと客席から群がる男達の  
いきり立ったチンポを物欲しそうな目で見つめた。

「はあ…ああ…みなさん、私の淫らな姿を見て  
こんなにおちんぼピンピンにしてくれたのですね♥  
おまんこも…オシリの穴もチンポが欲しくて

こんなにぐちゃぐちゃになってます…♥  
私が…私が精一杯ご奉仕しますので、  
みなさんの精液便所にして可愛がってください…♥」

沢山のチンポに囲まれ、

アレインは恍惚とした表情をしながらチンポに舌を伸ばした。

END

QUEEN'S SLAVE 2



## QUEEN'S SLAVE 2



と  
思  
っ  
て  
  
で  
す  
が  
  
で

### ■表紙線画■

今回は触手椅子に絡められるアレインさん、という構図にしてみました。  
最近はなんか表紙にも背景を描き始めたので時間がかかる…orz

触手椅子っていいですね！  
拘束された女性をぬめるおぞましい触手で辱める…  
手枷や目隠し等の拘束プレイと触手が合わさって何とも言えないエロさを  
演出出来る素晴らしいアイテムですw  
ポーズが固定されるのであまり変化が無く、描くのは大変ですが…orz

## ■後書き■

お疲れ様でした～！

初めは触手椅子で脱糞して終わりの予定だったのですが、  
やっぱりアナル解禁したので輪姦&二穴プレイも入れざるを得ない  
感じになってボリュームが上がってしまいました…／(^o^)\

アレイン教官は常に人を評価するという癖があり、それを上手く使えないかなーと思って  
人に褒められるという事を快樂にしようと思いましたw  
べた褒めして顔を赤らめるアレイン教官…w  
一応、次回でラストになると思いますので気長にお待ちください…

他には、本編とは別にオーガ陵辱モノもSSとして収録してみました。  
本当はコレか触手椅子かどっちかを本編にしようと思っていました。  
あわよくば前半がオーガ戦で後半に触手椅子を…と思い、ネームを切っていたのですが  
今回のように分けてまとめてみました。

QBは個人的にアレインさんの他にアンネロッテとかも好きなのですが、  
まさか公式で二人のストーリーが展開されるとは思いませんでしたねー。

他にはリベリオンのキャプテンリアナとかも気に入っています。  
リベリオンはアニメ化もするみたいなので今から楽しみですw

今年は激動の一年となりました。  
来年も仕事に同人にと無理をしない範囲で頑張って表現していきたいと思いますので  
またまたよろしくお願ひします。

それでは！

## ■奥付

■発行 ERECT TOUCH  
■発行日 初版 2011/12/31  
コミックマーケット81

■代表 エレクトさわる  
■印刷 共信印刷株式会社 様

■連絡先: erecttouch@yahoo.co.jp

HP: <http://erecttouch.blog7.fc2.com/>

